

# PRIDE

誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

## 全校道徳から「尊重」について考える

先日行われた「全校道徳」。これまでの教員人生で経験したことがなかったので、興味深く見させてもらいました。新入生入学後の初めての顔合わせということで、緊張感が漂っていましたが、3年生を中心に真剣に話し合う様子が印象的でした。



そんな中で、学校教育目標の一つである「尊重」に迫るものを発見しました。それは、「①人の話は最後まで静かに聞く。」「②発言する時は手を挙げる。」「③発表するときは、全員に聞こえる声ではっきり話す。」「④積極的に考え、参加(発言)する。」「⑤必ず理由を添えて発言する。」「⑥“相手”を否定しない。」「⑦禁句(雰囲気をごわす言葉)を使わない。」「⑧ヒソヒソ話をしない。(言いたいことはハッキリ発言!)」「⑨少数意見も大切にする。」「⑩決まったことは全員で守る!協力する!」という10個の「話し合いのルール」。このルールは、まさに他者を尊重する行動様式そのものです。また、相手を尊重しつつ、自分自身の人生を成功させるための鍵にもなります。

皆さんは、「話し上手」という人はどのような人であると思いますか? 「話の内容が面白い人」「ユーモアあふれる人」…などでしょうか。私も中学生の頃、いや40代ぐらいまではそう考えていました。確かにそれらも重要な部分ですが、一番大切なことは、「話を聞く力」ではないかと、考えるようになってきました。好きな司会者ランキングで1位のマツコ・デラックスや2位のサンドウィッチマンは、自身の話自体も面白いのですが、出演者の話を上手に拾って、広げたり深めたりしていくのがとにかく上手な印象です。私の周りにもこの人と話しているとついつい話してしまうという人が何人かいます。とにかく聞き方が上手で、話していると気持ちよくなってしまいます。そして、その人たちは漏れなく人生の成功者になっています。多分、私だけでなく多くの人がある人たちに対して同じように感じ、この人たちと一緒に仕事をしたいと感じさせられたのでしょう。一方、話は面白いのだけど、この人と話していると嫌な気持ちをさせられるという人もいます。たぶん、自分の考えを頭ごなしに否定されたり、話をスルーされたりしたのでしょう。そして、そんな人たちの多くは、大事なところで失敗しています。



ほとんどの仕事は、チームで行います。特に今後は、「協働してより良いものを創り上げる力」が求められています。みんなで仕事をするときに、気持ちよく仕事をしたいと思うのは誰でも同じではないでしょうか。「話し合いのルール」の最後に書かれている「\*人それぞれ、いろいろな意見があって当たり前です。意見を出し合い、ぶつけ合い、大切にしよう」ということで、素晴らしいものが生まれます。意見が違う人がいるからこそ、深い話し合いになります。」これこそまさに「尊重」の精神です。学校教育目標を達成するためにも、他者の話をしっかり聞いた上で、自分の意見を述べるという習慣を身に付けていきましょう!